

ほっとネット

Contents

P1 巻頭言

ますます求められる医療連携
腎臓内科 副院長 吉田 英昭

P1 診療科紹介

泌尿器科
泌尿器科 科長 北原 克教

P3 JR札幌病院感謝祭2019

P5 MRIでの非造影血管撮影法“REACH法”について
中央放射線室 菊田 俊

P5 腎臓病療養指導士って知っていますか??
薬剤科 安田 祐也

P6 地域発

さとう内科・消化器内科クリニック
院長 佐藤 史幸先生

虹色カフェのご案内

緩和ケアチーム PCN 佐藤 奈緒美

糖尿病教室について

JR札幌病院 間違い探しゲーム

ほっとネット49号当選者発表



JR札幌病院感謝祭



JR札幌病院 基本理念

心の通う医療
信頼される医療
地域社会に貢献する医療

基本方針

1. 社会のニーズに合った専門的な医療を提供するよう、医療技術の向上に努めます。
2. 患者様の権利を尊重し、プライバシーを守ります。
3. 地域の各機関との連携を重視し、地域医療に貢献します。
4. JR北海道の職域病院として、社員・家族の健康増進に寄与します。



H29.10.6 日本医療機能評価機構より
3rdG : Ver.1.1の認定を受けました。



巻頭言

ますます求められる医療連携

北海道胆振東部地震発生から1年が経過しました。震災被害に遭われた方々や今現在もご苦勞をされている方々にお見舞い申し上げます。

地震後まもなく北海道全域で大規模な停電が発生しました。病院もその例外ではなく、自家発電はあるものの日常の診療を大きく損ねる非常事態でした。平時、病院は防火・防災対策を策定しその点検や訓練を定期に実施しています。しかし、大規模なブラックアウトが発生してしまうと、不測の事態が次々と起きてしまいました。様々なことに同時進行で対応を迫られる状況でした。先の見えない中、幸いにも全職員の努力により、大きな事故が無く乗り切ることができました。

私は透析室の責任者ですので、透析患者さんの治療継続にも対応しておりました。透析は水と電力が必須の治療です。そのうち透析ができなくなった施設が多数存在している情報が入り驚愕しました。札幌透析医会の方からの依頼により当院も他の施設から数名受け入れました。追加要請もあるとのことでしたが、情報が錯綜し通信も困難となり、他の透析施設の状況が把握できなくなりました。後で知ったことですが、受け入れ可能な医療機関を探すのに苦勞されていた

ようです。結局は先輩後輩や普段からの顔見知りのドクター同士の繋がりが最も有用でした。

慢性腎臓病（CKD）対策についても、厚労省が医療連携を積極的に推進しています。2028年までに毎年4万人弱の方が透析になっているところを3.5万人以下にすることを目標としています。それには、健診の受検率を上げて早期発見・予防、必要な受検者には保健指導やかかりつけ医での治療、重症化を抑制するために、腎臓専門医・協力医とかかりつけ医が連携する“2人主治医制”を実践することが求められています。最近はCKD医療連携の会や糖尿病重症化対策の勉強会も多数開催され、多くの先生や看護師さん、保健師さん、栄養士さんなどとも交流ができる場も多くなっています。災害時のみではなく、普段から顔の見える関係は非常に大切であることを実感しています。多くの先生からCKDの患者様を御紹介いただくようになり、一緒に診させていただく事も多くなりました。今後ともよろしくお願いいたします。

腎臓内科
副院長

吉田 英昭

診療科紹介

泌尿器科

診療内容

泌尿器科では、腎臓・副腎・尿管・膀胱・尿道・前立腺・精嚢・精管・精巣・精巣上体に生じる泌尿器疾患に対しての診断から治療を行っています。腫瘍(がん)、排尿障害、尿路結石症、感染性疾患など泌尿生殖器の様々な病気の専門的診療を行っています。

2019年4月より泌尿器科医常勤2名体制となり、ますます充実した各種泌尿器疾患の外来診療や入院・手術治療が可能となっています。

当科の特徴

当科では泌尿器科外来診療のみならず、総合病院という特性を生かした入院診療、特に泌尿器外科手術治療を得意としてい

ます。手術症例は全例麻酔科医による管理のもと、泌尿器科内視鏡手術、開腹手術、腹腔鏡手術を正確な技術力を持って安全に行っております。各種泌尿器腫瘍においては手術治療のみならず、具体的には、前立腺がん・膀胱がん・腎がんなどの早期発見のための検査や各種がんの抗がん剤治療といったさまざまな診療を患者様の病態や背景に応じ適切に行っています。

JR札幌病院泌尿器科はあらゆる泌尿器科疾患診療を行うのに十分な体制を整えており、感染性疾患・前立腺肥大症・尿路結石症といった良性疾患の診療から、前立腺がん・腎がん・膀胱がんなどの悪性疾患(がん)の質の高い専門的診療を行っています。

泌尿器科
科長

北原 克教

当科での得意とする最近の診療についてご紹介いたします。

・前立腺肥大症

前立腺肥大症の手術療法として従来の経



尿道的な前立腺切除術(TUR-P)から、あらたに経尿道的な前立腺核出術(TUEB)を導入しました。これは従来型の手術(TUR-P)では手術中の出血量の増加や、TUR症候群発生などの欠点がありましたが、その欠点を補うために、従来型の手術のように肥大した前立腺を削り取るのではなく、前立腺を包んでいる被膜から、バイポーラシステムを用いて剥がしてくり抜くという方法論で行いますので、より出血が少なく安全に手術が可能となりました。

・尿路結石症

尿路結石治療では経尿道的な尿管碎石術(TUL)を導入しています。これは内視鏡を尿管あるいは腎内の結石にまで導き、結石を直接観察しながら結石をホルミウム・ヤグレーザーで破碎し、破碎された結石を体外に摘出する手術方法です。早期に結石フリーが可能となる大変治療効果の高い方法です。細径軟性尿管鏡を用いることにより、尿管結石だけではなく、腎臓内の奥深く狭い場所(腎杯)に挟まっている結石まで治療が可能な治療法(f-TUL)も実施しています。

・前立腺がん

前立腺がんの早期発見には特に力を入れており、前立腺生検を積極的に行っています。早期前立腺がんは前立腺全摘手術を行い、がん制御効果の高い、術後回復も早い質の高い手術を行っています。

・腎がん

腎がんの手術に関しては全摘術のみならず、可能ならば腫瘍のみを切除する腎部分切除を積極的に行い、できるだけ正常腎は残して腎機能を温存するという方針で治療しています。腹腔鏡下手術を積極的に行っています。

・膀胱がん

膀胱がんには内視鏡手術の経尿道的な膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を行い、浸潤性膀胱がんでは膀胱全摘術を行います。膀胱全摘術後の尿路変更は腹部にストーマを作成する回腸導管のほかに、自排尿型代用膀胱造設も行っています。

・副腎腫瘍

副腎腫瘍は当院循環器内科と連携した診療体制で精査を行い、手術が必要な場合は侵襲の少ない腹腔鏡下副腎摘出術を行っております。当科での手術治療の入院期間は1週間程で早期退院が可能です。各種画像診断や高血圧症のスクリーニングなどで副腎腫瘍が発見され手術に至るケースが増加しております。

遠方の患者様など通院が困難な患者様にも配慮する入院診療体制を整えています。泌尿器科疾患に関しましてお困り・お悩みの場合は、ぜひJR札幌病院泌尿器科にお気軽にご相談・受診ください。

スタッフの紹介

職名	氏名	学会認定等
科長	北原 克教 (きたはら かつゆき)	日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医長	小林 進(こばやし しん)	日本泌尿器科学会専門医



連携について一言

あらゆる泌尿器科疾患に対応可能な入院診療体制を整えています。泌尿器科疾患に関しまして加療が必要な時は、ぜひJR札幌病院泌尿器科にお気軽にご紹介ご相談ください。緊急入院も快く引き受けます。今後も札幌中心部にある急性期の病院として周辺の病院・クリニックの諸先生とともに連携をとりながら、ますます診療体制を充実し日頃の診療にあたりたいと考えております。小生は諸先生方の御依頼をすべて引き受ける断らない泌尿器科医をモットーとしております。今後も皆様のご指導・ご鞭撻何卒よろしくお願い申し上げます。

JR札幌病院 感謝祭2019 〔雨天決行〕 2019.7/28 SUN 10:00~14:00

7月28日（日）、昨年に引き続き、JR札幌病院感謝祭2019を開催し、当日は、熱帯夜が続いた猛暑の中、410名のお客様にお越しいただくなど、盛況に終わりました。今回は、昨年の第1回目に実施した内容をベースに、さらに充実した内容へリニューアルして実施いたしました。具体的には、（1）人気の「手術体験ツアー（予約制）」の実施回数を増やしました。開場20分程度で全5回60人分の予約が満員御礼でした。（2）「お菓子で調剤体験」も分包機を増やすなどを取り組みました。（3）「心臓カテーテルトレーニング」では、医師による心臓カテーテルの操作をレクチャーしました。循環器科医師の実践的な指導、体験したお子様たちも医師になったような表情で操作していました。（4）「看護師体験」では、実際の診察を模した、聴診器、血圧測定体験をはじめ、点滴の滴下調整体験などを追加しました。看護師からの優しい直接指導しました。（5）「病院の機械を操作してみよう!!」では、人工腎臓を用いて、透析の仕組みを理解してもらうなどを新たに実施しました。そして、もちろん、昨年に引き続き人気コーナー（「セラピードッグふれあいコーナー」の癒し体験、「健康測定会」として、簡単な健康診断の実施）も大賑わいでした。ご来場の方々には、アンケート回答にもご協力をいただき、その中には有難いお褒めの言葉と、今後も感謝祭を継続してほしいなどの、多数のお声をいただきました。今回の実施にあたりまして、ご協力をいただきました近隣の町内会、小中学校や施設の皆様にも大変お世話になりました。あらためて御礼申し上げます。

セラピードッグふれあい



無料ドリンク券付チラシ配布しました。



なでなで。



つつん。

フリザーズドフラワー体験



ハーバリウムボールペン制作体験。

ヨーヨー釣 & いろいろすくい



なりきりドクター&ナース撮影会



ベジシヨッフあさだ



(5)病院の機械を操作してみよう!!



(3)心臓カテーテルトレーニング



こうやって入れるんだよ。



上手だね!



空気を入れて! 膨らみました。

[出店] たこ焼きパンチ、ジェリースポップコーン



出店ありがとうございました。院長先生がご挨拶に伺っていました。

人体図の塗り絵で、人体を完成させよう 箸体験～落とさずに移動できるかな?



自分だけのスポーツドリンク を作ってみよう



(2)お菓子の調剤体験



お菓子を
お皿に取ります。
四角いマスに
お菓子を入れます。
下から袋に入れて
出てきます。

健康測定



わくわく型取り



型を取る部材
を作ります。
指の型を
取ります。
石膏の指が
完成です。

(4)看護師体験



手洗いの
指導。
きれいに
洗えてるかな？

CT画像を利用した 3D画像作成体験



(1)手術室を体験しよう



まずは受け付け。大行列でした。 点呼します。 いよいよ手術室。 ヘアキャップ装着。シューズカバー。説明します。



手をかざすと水が出ます。石けんが出ます。 肘までしっかり 爪も洗います。 ガウンを着ます。裾はカットします。カードを取ります。洗う。



滅菌手袋をつけます。 手術体験を始めます。電気メスの説明。腫瘍(黒い印)を 取り除きます。 みんな上手に出来るかな。



別室で、内視鏡の体験をします。 モニターを見ながら 操作します。 上手くつまめるかな。

看護学生のためのフックとナース



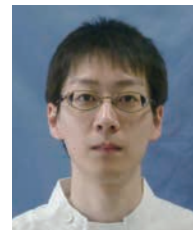
MRIでの非造影血管撮影法 “REACH法”について

今回、MRIで造影剤を使わずに血管を撮影できる手法であるREACT法を紹介させていただきます。

動脈硬化・動脈瘤など血管の病気の検査、または手術前に血管と臓器の位置関係を把握するような撮影をする場合、造影剤を使用したCT検査が広く用いられています。このCTを使用した撮影は短時間で広範囲を詳しく描出することができますが、造影剤アレルギーや腎機能障害がある方は検査することができません。それに加えて、放射線被ばく・針刺し・造影剤の使用という「侵襲」を伴います。それに対してMRI検査では造影剤を使用することなく血管を描出する方法があります。また、放射線ではなく磁気の力を利用するので被ばくの心配もありません。

図1はREACT法を用いて撮像した頸部～腹部の非造影MRA画像です。この領域は、呼吸と心臓、両方の動きの影響を受けるため、従来の方では呼吸同期・心電同期が必要となり撮像時間が長くなる傾向にありました。しかしREACT法は動きに強い撮像法であるため、これらの同期を必要とせず短時間で

きれいに撮像できます。また、静脈も描出される特徴を利用したMRV(図2)も可能となります。近年ではMRI装置の性能の向上により、弱点とされていた検査時間を短縮しつつ、高画質な画像を提供できるようになってきました。これからも新しい撮像法はいち早く取り入れ、患者様により優しくて質の高い画像を提供できるように精進していきたいと思います。



中央放射線室

菊田 俊



図1. 頸部～腹部の非造影MRA
撮影時間約3分

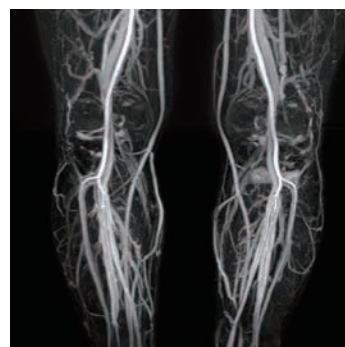


図2. 下肢の非造影MRV
撮影時間約5分

腎臓病療養指導士って知っていますか??

日本の慢性腎臓病（CKD）患者の推定数は成人人口の8人に1人に上り、高齢化、生活習慣病の増加を背景に今後も増えることが見込まれています。CKDは、腎不全進行のみならず心血管疾患発症のハイリスクとなるため、早期からの集学的・全身的ケアが重要となります。しかし多数のCKD患者を、限られた数の腎臓専門医や専門スタッフだけで診療することは困難であり、CKD診療の水準をより向上させるためには、医師だけでなく、多職種が互いに協力しながら、各領域の知識と経験を生かした療養指導を継続的に行っていくことが求められています。

日本腎臓学会では、日本腎不全看護学会、日本栄養士会、日本腎臓病薬物療法学会と共同で、標準的なCKDの保存療法を現場に浸透させることを目的に腎臓病療養指導士制度を立ち上げました。「腎臓病療養指導士」は、職種横断的な、CKD療養指導に関する基本知識を有した方を育てるための資格で、対象は看護師・保健師、管理栄養士、薬剤師です。

応募要件は、CKDの療養指導に関する実務経験、講習会受講、所定の研修およびこれを証明する症例要約の提出と認定試験からなります（詳細は日本腎臓学会ウェブサイトを参照）。

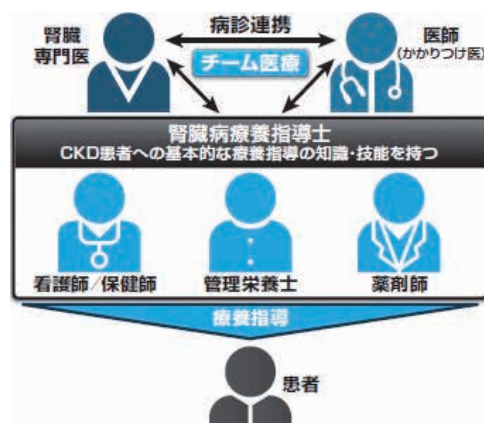
2018年1月に第1回認定試験が開催されて全国で734名（看護師434名、管理栄養士154名、薬剤師146名）の腎臓病療養指導士が誕生しました。

私も昨年、腎臓内科吉田先生を始め、看護師さん、栄養士さんの協力もあり、同資格を取得することができました。今後、腎臓病療養指導士取得にご興味のある方は、いつでも気軽にお声掛けいただけたらと思います。



薬剤科

安田 祐也



地域発

さとう内科・消化器内科クリニック

院長 佐藤 史幸 先生



初めまして、院長の佐藤 史幸と申します。

本年6月1日より、前院長で父親でもあります佐藤 良二医師より、さとう循環器科・内科クリニックを継承させて頂き、“さとう内科・消化器内科クリニック”へと名称を改め開院させて頂きました。

前身のさとう循環器科・内科クリニックは、札幌厚別区に根ざした患者様の心に寄り添う診療を28年続けて来られました。当院もそのご意思を引き継ぎ、お体に不調を感じた際にまず相談できるホームドクターとして、厚別区の皆さまの健康を支える一員となれることを理念とし診療を行っております。

主な診療内容と致しましては、高血圧・脂質異常症・糖尿病を代表とする生活習慣病全般やかぜ症状、common diseaseとしての喘息・肺気腫・甲状腺疾患などをはじめ、前院長協力のもと前身のクリニックで診させて頂いておりました循環器疾患に加え、最新の内視鏡機器を用いた消化器疾患の早期発見・治療、肝臓専門医による肝炎や脂肪肝などの肝疾患の治療やその他の消化器疾患に対する検査・治療まで、幅広く患者さんの症状やご希望に寄り添う診療を心がけております。



JR札幌病院様には前身のクリニックから長くお世話になっており、今まで多くの患者様を引き受けて頂いております。診させて頂いております大切な患者様を御紹介させて頂くにあたり、JR札幌病院の諸先生方・地域連携室の方々は、いつでも患者様を第一に考えて下さり、患者様が困らないように御配慮下さるため、小生・スタッフ共々非常に感謝しております。また、JR札幌病院様が土曜日の午前中予約等なく患者様を受け入れて頂けることは、診療をする上で大変心強く、患者様の安心にも繋がっております。

当院はJR札幌病院様からやや距離のある厚別区に位置しているため、受診するにあたっての距離的なニーズ等に合わせて、病状が安定した際の引き続きの診療を当院でも行わせて頂くことが出来るように心がけて頂き、何より患者様にとってより良い医療が受けられるように、今後とも引き続き良き病診連携をさせて頂ければ幸いです。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



さとう内科・消化器内科クリニック

札幌市厚別区厚別西2条4丁目2-10 アクティブプラザ厚別西1F

TEL:011-894-2004

院長 佐藤 史幸

診療科 内科、消化器内科

診療時間 9:00~13:00(月・火・水・木・金・土)、14:00~17:00(月・火・水・木・金)

休診日 日曜・祝日

虹色カフェのご案内

緩和ケアチーム PCN
佐藤 奈緒美

患者サロン「虹色カフェ」は、第4木曜日、午後2時から30分、月一回（予約・参加費不要）で開催しています。病気に関する知識や療養の場について必要な情報を発信しています。緩和ケア室までお問い合わせください。



月日	テーマ	場所(病棟ラウンジ)
9月26日	【緩和ケア】認知症がある方の支援	6階
10月24日	【緩和ケア】認知症がある方の支援	5階
11月28日	対処療法になった時の過ごし方	6階
12月26日	がんと共に歩む生活について	5階
1月23日	中止	
2月28日	中止	
3月28日	今後の生活の場を考える	6階

糖尿病教室について

現代の日本ではどの施設でも糖尿病の患者さんは増加していると思いますが、当院も例外ではありません。糖尿病に関する知識や新しい情報を提供することを目的に2012年から糖尿病教室が始まりました。2ヶ月ごと年6回診療で糖尿病に関わっている様々な職種の方を講師に迎え30分程度の講義を行っています。

糖尿病に興味関心のある方は、どなたでも自由に参加可能です。皆さんのお越しをお待ちしています。詳しくは病院ホームページをご覧ください。

今後の糖尿病教室の予定

年	月	日	曜日	講演部門	職種	講演者	内容
2019	11	21		循環器	医師	長谷川	低血糖と認知症
				栄養	栄養士	谷口	食事療法
2020	1	16	木	皮膚科	医師	村松	糖尿病と皮膚疾患
				リハビリ	理学療法士	川村	糖尿病と運動療法
	3	19		歯科	医師	小林	血糖コントロールと歯周病
	歯科	歯科衛生士		中尾	デンタルケア		
	5	21		糖尿病内科・腎臓内科	医師	富樫	糖尿病の基礎知識
薬剤	薬剤師	安田	糖尿病の薬物療法				

クイズに答えて
景品を当てよう!!

JR札幌病院 間違い探しゲーム

2つの写真から、5つの間違いを探そう!
正解者には、抽選でクオカードがもらえるヨ
息抜き、暇つぶし、頭の体操にやってみよう~



応募要項

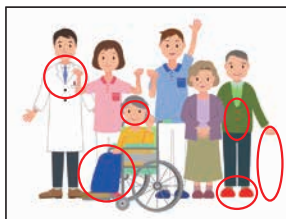
応募期間：令和元年10月1日～10月31日

応募方法：応募用紙の写真の間違い箇所に入れ、地域医療連携センター前に設置の応募箱へご投函、又は、紙面上の写真を切り取って（コピーも可）○を記入し、住所・氏名を記載の上郵送でご応募ください。

応募先：〒060-0033 札幌市中央区北3条東1丁目 JR札幌病院 地域医療連携センター ※氏名の公表を希望されない場合はペンネームを掲載いたします。
発表方法：広報誌「ほっとネット」紙面上にて発表いたします。

ほっとネット49号当選者発表

6つのまちがいは



応募総数 **22人**

抽選の結果、次の5名の方にクオカードをお送りいたします。

辻 博之 様、岩元 光子 様、マッチャン 様
他2名(匿名希望)の方

編集後記

昨年に続き2回目の感謝祭も大盛況に終わりました。参加された皆様ありがとうございました。本号では、感謝祭の様々を見開きページで紹介させていただきました。また、腎臓病療養指導士やMRIでの非造影血管撮影法など当院の取り組みについて紹介させていただきました。本号の編集は、暑い夏、真っ盛りの最中に行っており、パタパタの日々をおくっていました。(N)

発行日/2019年10月1日

編集長/吉田 英昭

編集者/大村 早代・小原健太郎・河野 通晴・中澤 英之・夏目 健文

正木 良紀・松本 道明

発行所/札幌市中央区北3条東1丁目

JR札幌病院 広報誌企画編集委員会

<https://hospital.jrhokkaido.co.jp/>